

奈良県食品衛生監視指導計画に基づく監視指導結果について [概要]

(平成27年度～平成29年度)

1 監視指導結果について

食品等事業者に対する監視指導の実施状況

許可を有する施設に対する監視指導の状況 (達成率 : 108.8%)

| 業 種 | | 監視回数 | H 2 7 | H 2 8 | H 2 9 |
|---------------------|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| H27・28 行政処分施設 (食中毒) | | 年 2 回 | 125.0 | 105.0 | 116.7 |
| H28 行政処分施設 | | | 112.5 | 133.3 | 141.7 |
| 広域流通食品製造等施設 | | | 114.9 | 95.3 | 112.1 |
| 飲 食 店 | レストラン等 (300食以上) | 年 2 回 | 46.0 | 61.2 | 29.4 |
| | 仕出し・弁当 (300食以上) | | 90.0 | 120.4 | 75.0 |
| | 旅館・ホテル (300食以上) | | 160.0 | 110.0 | 40.0 |

| | | | | | |
|------------|-----------------|---------|-------|-------|-------|
| 集 計 | 違反施設・1日300食以上 | 年 2 回 | 145.8 | 174.1 | 144.6 |
| | 乳処理、300食未満の仕出し等 | 年 1 回 | 78.4 | 88.8 | 77.7 |
| | その他飲食店、食肉・魚介販売 | 年 0.5 回 | 112.8 | 133.2 | 118.4 |
| | 簡易・自販機等 | 適宜* | 150.1 | 175.8 | 165.3 |
| 全体の監視予定達成率 | | | 104.8 | 122.1 | 108.8 |

* : 監視回数適宜は便宜上年 0.2 回で計算。

食品等の収去検査の実施状況

| | | H 2 7 | H 2 8 | H 2 9 |
|-----------|-----------|--------|--------|--------|
| 予 定 検 体 数 | | 917 | 906 | 942 |
| 保 健 所 | 検 体 数 | 409 | 410 | 391 |
| | 不 適 検 体 数 | 30 | 32 | 27 |
| | 項 目 数 | 5,218 | 5,786 | 5,157 |
| | 不 適 項 目 | 36 | 34 | 40 |
| 中 央 市 場 | 検 体 数 | 492 | 506 | 551 |
| | 不 適 検 体 数 | 2 | 3 | 8 |
| | 項 目 数 | 8,159 | 8,239 | 8,376 |
| | 不 適 項 目 | 2 | 4 | 9 |
| 合 計 | 検 体 数 | 901 | 916 | 942 |
| | 不 適 検 体 数 | 32 | 35 | 35 |
| | 項 目 数 | 13,377 | 14,025 | 13,533 |
| | 不 適 項 目 | 38 | 38 | 49 |

2 農産物等の残留農薬検査について

| 県産モニタリング | H 2 7 | H 2 8 | H 2 9 |
|----------|--------|--------|--------|
| 検 体 数 | 125 | 132 | 130 |
| 不適検体数 | 0 | 0 | 0 |
| 項 目 数 | 14,500 | 15,312 | 15,080 |
| 不適項目数 | 0 | 0 | 0 |

| 収 去 検 査 | H 2 7 | H 2 8 | H 2 9 |
|---------|--------|--------|--------|
| 検 体 数 | 105 | 105 | 99 |
| 不適検体数 | 0 | 0 | 1 |
| 項 目 数 | 10,430 | 10,960 | 10,336 |
| 不適項目数 | 0 | 0 | 0 |

平成29年度は、奈良県産農産物の残留農薬モニタリング検査を130検体について実施した。従来の出荷時の農産物97検体の検査に加え、農林部マーケティング課協力のもと、直売所等の出荷前の農産物33検体についても検査を実施した。

また、収去検査では、県内に流通している農畜産物90検体及び加工食品9検体の合計99検体について残留農薬の検査を実施した。

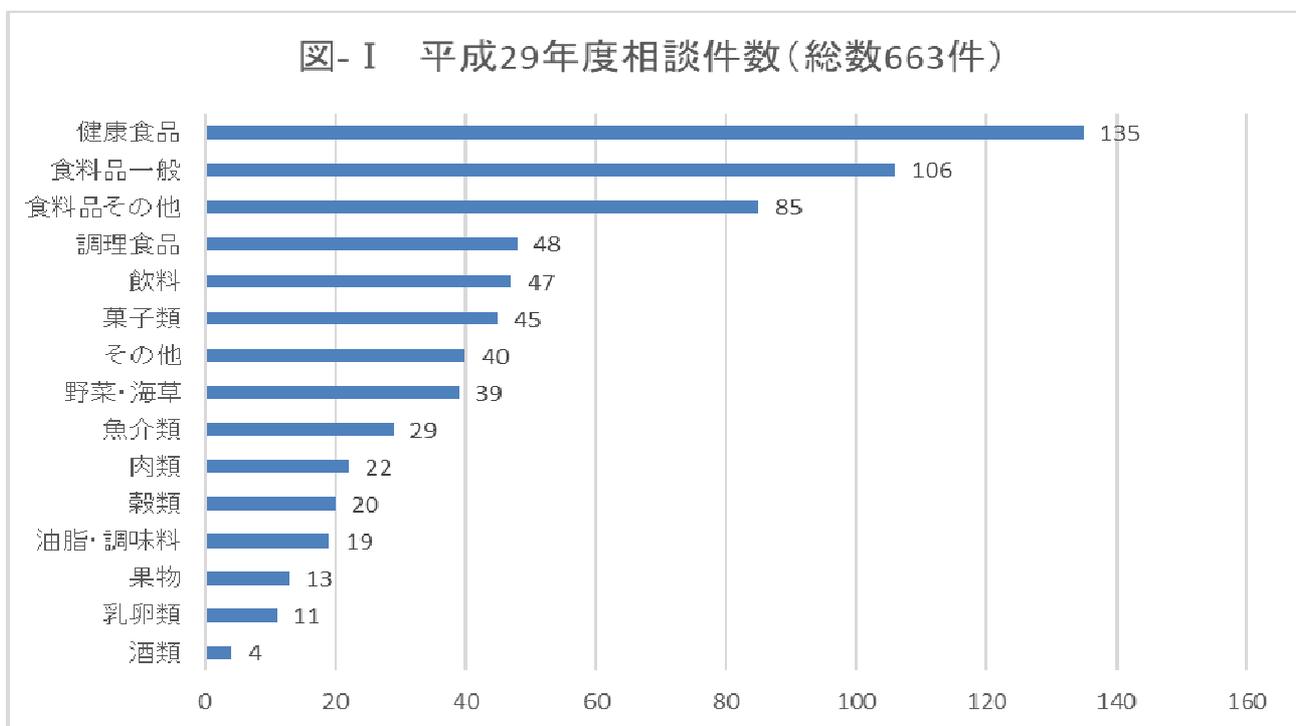
モニタリング検査と収去検査合わせて、実施した229検体のうち、1検体（空心菜）から、残留基準値を超える農薬の検出事例がありましたが、他のものについては基準値以下で、食品衛生法違反はありませんでした。

3 食品関連の相談状況について

食に対する県民の不安を解消するため、食の安全・安心に関する総合窓口として消費生活センター、消費生活センター中南和相談所、各保健所に設置している「食の安全相談窓口」を設置し相談を受けている。そのほか県内の各保健所でも同様に食に関する相談を受けている。

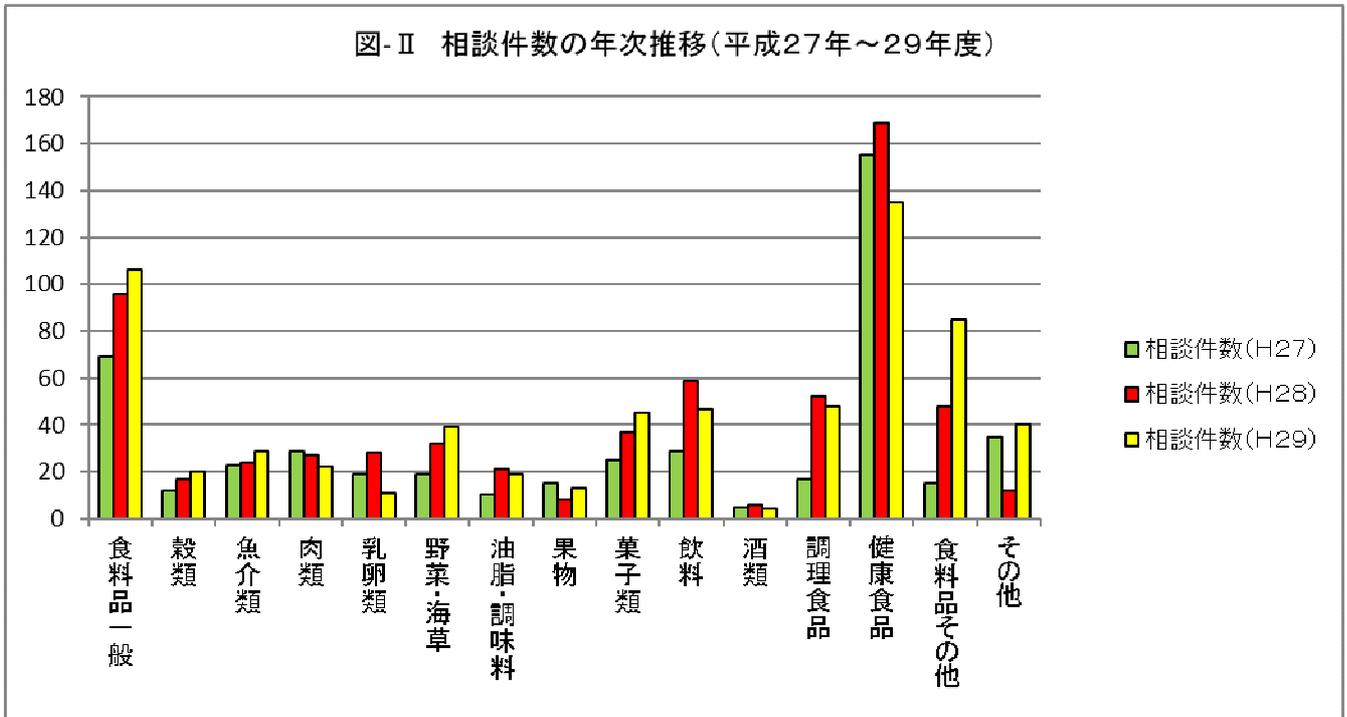
- ・内容別では、健康食品に関する相談が最も多く寄せられている。

平成29年度の相談総数は663件（図-I）。相談内容別に見ると健康志向への高まりもあり、健康食品に関することが135件（全体の約20%）を占めている。次いで食料品一般に係る相談が106件（約16%）寄せられている。



・相談受付件数の推移

平成29年度の相談総数は663件で、平成28年度は636件、平成27年度は477件であった。過去3年間を通して相談件数1位の健康食品については、平成29年は、135件、平成28年169件、平成27年155件と推移している（図-Ⅱ）。



・食品衛生に関する講習会開催について

講習会開催数・参加人数及び学習会・リスコミ参加人数の推移は、下表のとおりである。

表 講習会開催数・参加人数及び学習会・リスコミ参加人数

| | H27 | H28 | H29 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| 食品衛生に関する講習会の開催数(回) | 76 | 74 | 77 |
| 食品衛生に関する講習会参加人数(人) | 3,880 | 3,701 | 3,904 |
| 食の安全・安心学習会、リスコミ参加人数(人) | 162 | 763 | 137 |

以上